

# 甲状腺PEIT研究会

- [新着情報](#)(2004.3.8更新)
- [甲状腺PEIT研究会の発足の経緯と展望](#)
- [甲状腺PEIT研究会会則](#)
- [甲状腺PEITガイドライン](#)
- [世話人会名簿](#)
- [甲状腺エタノール注入療法第1-7巻目次](#)

---

代表世話人 伴 良雄

事務局

〒142 - 8666 東京都品川区旗の台1 - 5 - 8  
昭和大学第3内科

TEL 03 - 3784 - 8539 FAX 03 - 3785 - 0464

Revised on 8 March 2004

# 『甲状腺PEIT研究会』発足の経緯と展望

甲状腺疾患に対する経皮的エタノール注入療法（PEIT）は一部の施設で行われていました。最近、超音波画像の改善や血流分布が描出されるようになり、PEITを試行される施設が増えてきました。

1994年には数施設から甲状腺疾患に対するPEITの発表がなされておりますが、PEITの手技面で、それぞれの施設で工夫されています。例えば、エタノール注入に伴う疼痛対策、エタノールの注入量、その留置時間や残留量など、各施設でノウハウをもっておられます。

また、適応疾患も嚢胞や機能性腺腫から、バセドウ病や手術不能の癌患者のQOLの改善に拡大され、良好な結果を得たとの発表もみられるようになりました。

そこで、1995年春に甲状腺疾患に対するPEITを多く経験をしている野口病院の野口志郎院長、公立昭和病院内科の貴田岡正史先生、北海道大学核医学教室の中駄邦博先生、昭和大学第二外科教室の川内章裕先生に、PEITの適応と手技のノウハウに関して意見交換の場をもつことをご相談しましたところ、是非、研究会を作るようにとご賛同を得ました。また、経済面でエーザイにご相談したところ、協賛したいとの意向を得ました。さらに、甲状腺学会の長瀧重信教授、核医学会の小西淳二教授、内分泌外科学会の高井新一郎教授、甲状腺外科検討会の飯田太教授にご相談したところ、研究会の趣旨にご賛同を得ましたので、これらの先生方に顧問になって頂き、甲状腺PEIT研究会を発足されるため、10月に野口、貴田岡、川内、中駄各先生に、私と私どもの教室の長倉穂積君の6名で世話人会を開催するに到りました。

1996年1月に甲状腺学会会員の各施設長の方に甲状腺PEIT研究会設立の趣意書をお送りしましたところ、多くの施設から参加したいとお返事を頂きました。2月末に開催のご案内をお送りし、4施設から発表演題の予定有りとお返事を頂き、甲状腺PEIT研究会が発足した次第であります。

第1回甲状腺PEIT研究会は7月2日に、ホテルニューオータニ（大阪）で開催いたしました。今回はPEITの適応と手技と題し、レクチャーを企画し、世話人4名の方にお話をして頂きました。また一般演題は4題で、いずれも活発な討論がなされ、PEITの手技に関する知識の普及、また問題点も多く指摘されました。

甲状腺疾患に対する第4の治療法として、PEITが確立し、多くの方に認知されますと、治療法の選択の幅が広がり、患者のQOLの改善に、おおいに寄与するものと考えられます。

まだ多くの問題点がありますが、これらを改善していくように世話人会で努力する所存です。

1996年12月 甲状腺PEIT研究会  
代表世話人  
伴 良雄

[甲状腺PEIT研究会トップページへ戻る](#)

# 甲状腺PEIT研究会 新着情報

## 第9回甲状腺PEIT研究会開催のご案内

日時：平成16年6月25日（金）18：30～20：30

（日本内分泌学会の第2日目の夕刻）

開催地：京都市、[国立京都国際会館](#)

会費：3,000円

特別講演 エタノール注入の副作用と対策（仮題）

昭和大学 麻醉科学講座 増田 豊 教授

レクチャー／シリーズ 機能性甲状腺結節に対するPEITの実際

宮川病院 宮川めぐみ 先生

演題募集：

一般演題を希望される方は、演題名、所属、演者名、400字以内の抄録をE-mailまたはフロッピーでご送付下さい。

一般演題締め切り：平成16年4月末日必着

演題申し込み先：

〒830-0011

福岡県久留米市旭町67番地

久留米大学医学部内分泌代謝内科

第9回甲状腺PEIT研究会会長

広松雄治

Tel: 0942-31-7563

Fax: 0942-35-8943

E-mail: [yuji@med.kurume-u.ac.jp](mailto:yuji@med.kurume-u.ac.jp)

---

[甲状腺PEIT研究会トップページへ戻る](#)

# 甲状腺PEIT研究会会則

## 第1条 名称

本研究会の名称を甲状腺PEIT研究会とする。

## 第2条 目的

PEITが甲状腺疾患を始めとする内分泌疾患に応用されるようになり、この領域におけるPEITの適応のコンセンサスとその治療法の確立を目指し、さらに本療法の普及を目的とする。

## 第3条 研究会の学術集会の開催

- 1) 開催日: 本会は目的を達成するため、原則として年1回の研究会の学術集会を開催する。
- 2) 研究会の当番世話人: 原則として、世話人会で当番世話人(研究会会長)を決定する。
- 3) 演題: 演題は、原則として、会員の中から募集する。  
ただし、会員以外で優れた研究がある場合には、本研究会から演題の依頼を行う。
- 4) 特別講演: 世話人会で特別講演の内容・発表者を決定する。

## 第4条 会員

- 1) 会員は、甲状腺PEITの研究者とする。  
新入会員は世話人会で承認する。
- 2) 非会員の研究会への参加  
会員以外から参加を希望する医師又は医療関係者は、事前に当番世話人の了解を得た者とする。

## 第5条 研究会の構成および運営

- 1) 本研究会は、会員および世話人で構成する。
- 2) 世話人において代表世話人を1人選出する。
- 3) 世話人会は研究会の運営方針を決定する。

## 第6条 役員およびその決定事項

- 1) 本研究会には次の役員を置く。

- (1) 世話人 若干名
  - (2) 代表世話人 世話人の中から1名
  - (3) 会計監事 世話人の中から2名
- 2) 新たな世話人は、世話人の推薦により世話人会で決定する。
  - 3) 世話人の中から代表世話人を1名選出する。  
代表世話人は本研究会の運営の責任を負う。任期は1年とするが、再任は妨げない。
  - 4) 世話人の中から2名の会計監事を選出する。会計監事は事務局の行う会計処理が適正であるか否かを監査し、世話人会に報告する。  
任期は1年とする。
  - 5) 世話人会は本研究会の議決機関とし、少なくとも年1回開催する。  
世話人では以下の項目について検討し、決定する。
    - (1) 研究会運営方針の決定
    - (2) 当番世話人の選出
    - (3) 開催日時、場所の決定

## 第7条 事務局

本研究会の事務局は当分の間、昭和大学第3内科に置く。

〒142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8

TEL 03-3784-8539 FAX 03-3785-0464

## 第8条 会計

- 1) 本研究会の会計年度は毎年4月1日から3月31日までとし、世話人会は会計監事の監査報告を受ける。
- 2) 本研究会の運用は、寄付金並びに学術集会の参加費をもって充当する。
- 3) 会費は1人当たり3,000円/年とし、通信費等に使用する。  
なお、会費は研究会開催時に徴収する。

## 第9条 会則の変更

本研究会の会則は、世話人会の過半数の議決を経て改正することができる。

## 第10条 会則の発効

本会則は、第1回の研究会の開催をもって発効とする。

付記：平成12年6月17日改正

[甲状腺PEIT研究会トップページへ戻る](#)

# 甲状腺PEITのガイドライン

## 甲状腺嚢胞

### 1.適応について

- (1) 90%以上が嚢胞性であり、排液後の再貯留例を原則とする
  - (2) 悪性が否定されていること
  - (3) 臨床的に圧迫その他の症状が存在していること
  - (4) 超音波ガイド下に確実に穿刺可能な部位に病変があること
  - (5) 十分なインフォームドコンセントのもとに患者の了解が得られていること
- 以上の5つの条件をすべて満たす症例を適応とする。ただし、以下の場合には除外する。

#### 除外項目：

- 1) 対側に反回神経麻痺が存在する場合
- 2) 巨大嚢胞は十分な臨床効果が得られない可能性が高いので原則として適応としない

### 2.手技について

- (1) 装置について  
7.5MHz以上、電子リニアスキャン、メカニカルセクタスキャンを使用、空間解像度は0.5mm以上。カラードプラ機能を有している装置を用いることが望ましい
- (2) 穿刺針について  
嚢胞内に穿刺針を留置して操作を行う。このため留置用専用針の使用が望ましい
- (3) エタノール注入について  
注入にあたってはリークを生じないよう細心の注意を払う。あらかじめ嚢胞液を十分に排液しておく。十分なエタノール濃度を確保するため、エタノール注入は2回に分けて行うことが望ましい。初回注入のエタノールを十分に除去後、再注入を施工する。注入量は約2mlまでを目安とする。
- (4) 合併症について  
反回神経麻痺、疼痛、血腫、を起こすことがあるので慎重に対処する。

## 機能性甲状腺結節

### 1.適応について

- (1) 血中甲状腺ホルモン高値、およびTSHの抑制が認められること
  - (2) 甲状腺シンチグラフィーでhot noduleが確認されること
  - (3) 悪性が否定されること
  - (4) 超音波ガイド下に確実に穿刺可能な部位に病変があること
  - (5) 十分なインフォームドコンセントのもとに患者の了解がえられること
- 以上の5つの条件をすべて満たす症例を適応とする。

ただし、以下の場合には除外する。

#### 除外項目

- (1) 対側に反回神経麻痺が存在する場合
  - (2) 結節サイズが長径4cm以上の場合
- 注：高齢者などで手術のリスクが高い場合にはこの限りではない

### 2.手技について

- (1) 装置について  
7.5MHz以上電子リニアスキャンを使用、空間解像度は0.5mm以上、カラードプラ機能を有する装置を用いること。
- (2) 穿刺針について  
22G程度で先端を確実に確認可能なものとする。
- (3) エタノール注入について  
注入にあたってはリーク生じないよう細心の注意を払う。超音波学的に計測された体積の50%もしくは2mlまでを目安とする。機能結節内の血瘤評価を行い、血流消失ないし減少を確認する。
- (4) 合併症について  
反回神経麻痺、疼痛、血腫を起こすことがあるので慎重に対処する。

## 甲状腺PEITガイドライン（案）作成検討委員会

<委員長> 貴田岡正史  
<委員> 宮川めぐみ  
福成信博  
高見 博  
横沢 保  
大野泰裕  
広松雄治

オブザーバー

世話人会代表 伴 良雄  
世話人 野口志郎  
青木矩彦  
中駄邦博  
川内章裕  
谷山松雄

---

[甲状腺PEIT研究会トップページへ戻る](#)

# 甲状腺PEIT研究会 世話人会

代表	伴 良雄
	野口 志郎
	青木 矩彦
	貴田岡正史
	中駄 邦博
	川内 章裕
世話人会事務局	〒142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL03-3784-8539 FAX03-3785-0464 昭和大学第3内科学教室内 甲状腺PEIT研究会 谷山 松雄

## 甲状腺PEIT研究会 顧問

飯田 太	信州大学名誉教授
小西 淳二	京都大学医学部教授
高井新一郎	大阪大学名誉教授
長瀧重信	長崎大学名誉教授

[甲状腺PEIT研究会トップページへ戻る](#)



# 甲状腺エタノール注入療法第1-7巻目次

第7巻（第7回甲状腺PEIT研究会記録）		
一般演題		
新しい表在部専用PEITニードルの開発とその臨床応用	大河原広征、他	印刷中
甲状腺PEITに関するガイドライン（案）—AFTN— 甲状腺PEITガイドライン作成委員会	貴田岡正史、他	印刷中
甲状腺のう胞、AFTNにおけるPEITの予後と有害事象	伴良雄、他	印刷中
特別講演（1）「PEITの長期成績と注入法の工夫」	中駄邦博	印刷中
特別講演（2）「リピオドールを用いるInjection therapy」	福成信博	印刷中
第6巻（第6回甲状腺PEIT研究会記録）		
第一次甲状腺PEITに関する調査報告	伴良雄	1
甲状腺PEITに関するガイドライン（案） 1.甲状腺のう胞	貴田岡正史	5
AFTNに関するoverview	藤田寛子	9
一般演題		
1.AFNTに対するエタノール・リピオドール注入療法（PERI）の臨床的検討	福成信博	21
2.甲状腺PEITにおける携帯型超音波断層装置・ソノサイト™の有用性	大河原宏征、他	29
特別講演（1）「原発性アルドステロン症腺腫のエタノール動注療法」	中條政敬	37
特別講演（2）「バセドウ病の甲状腺血流量の制御機構」	佐藤幹二	49
第5巻（第5回甲状腺PEIT研究会記録）		
1) オーバービュー 甲状腺疾患におけるPEIT	伴良雄	1
2) 少量エタノール洗浄を繰り返した巨大縦隔甲状腺嚢胞のPEIT	土田恭代、他	5
3) 甲状腺PEITの副作用について—自検例と文献的考案—	大野恭裕、他	9
4) 甲状腺における嚢胞性病変へのエタノール注入療法 第4報	大河原宏征、他	13
5) PEIT治療後の5年の追跡調査—嚢胞性結節31例の検討—	横沢保、他	17
6) PEIT治療後1年が経過したプランマー病13例の検討	横沢保、他	20
7) 甲状腺PEIT難治性の検討	福成信博	23
特別講演（1）「PEITによる甲状腺癌患者のQOLの向上」	渡辺紳	32
特別講演（2）「甲状腺PEIT—ミレニアム：将来への展望」	貴田岡正史	39
第4巻（第4回甲状腺PEIT研究会記録）		
1) オーバービュー 甲状腺疾患におけるエタノール注入療法	伴良雄	1
2) Graves病、橋本病に対する甲状腺局所注射療法（PEIT、ステロイド注射）の経験	西村明芳、他	7
3) メルカゾール（MMT）で無顆粒球症となったバセドウ病へのPEIT開始後3年間の臨床経過報告	横沢保、他	14
4) 機能性甲状腺結節（autonomously functioning thyroid nodules:AFTN）に対するPEIT：第2報	藤田寛子、他	17
5) 単発性良性甲状腺結節に対するPEITの有効性について	大野恭太、他	27

6) 甲状腺乳頭癌、手術拒否症例に対するエタノール局所注入療法	渡辺紳、他	34
7) 甲状腺の嚢胞性病変に対するエタノール注入療法の新しい工夫	大河原宏征、他	39
2年間25回のPEITで著明に縮小した(308g→44.4g) 良性充実性(Mixed Tumor) 腫瘍の1例	横沢保、他	45
6年間13回のPEITで無効、大きな良性嚢胞性腫瘍の1手術例 —なぜ効かないの?組織からみた検討—	横沢保、他	49
特別講演「甲状腺充実性腫瘍に対するPEIT」	福成信博	55
第3巻 (第3回甲状腺PEIT研究会記録)		
<b>I.一般演題</b>		
座長 昭和大学第2外科 川内 章裕 北海道大学放射線科 中駄 邦博		
1) 甲状腺嚢胞性病変におけるエタノール注入療法の新しい工夫	大河原宏征、他	1
2) PEITが有効であった咽頭浸潤を呈する再発性甲状腺乳頭癌の手術不能例	赤須東樹、他	6
3) 頸部動静脈瘻に合併した甲状腺嚢腫に対するPEITの治療経験	渡辺紳、他	9
4) ATDで副作用・RI手術拒否でPEITを施行した巨大甲状腺腫のバセドウ病症例	吉村弘、他	12
<b>II.シンポジウム</b>		
座長 野口病院 野口 志郎 公立昭和病院内分泌科 貴田岡正史		
"バセドウ病に対するPEITは是か非か"		
1) オーバービュー	伴良雄	15
2) 術後再発バセドウ病 若年症例	中駄邦博	18
3) informed consentに基づいた適応	長倉穂積	23
4) 外科医の立場から	栗原英夫	27
5) 放射線医の立場から	日下部きよ子	31
6) 将来への展望	川内章裕	35
第2巻 (第2回甲状腺PEIT研究会記録)		
再貯留性甲状腺のう胞に対するPEIT	伴良雄	1
特別講演 当院におけるPEIT経験	横沢保、他	3
1) 甲状腺における腫瘍病変へのエタノール注入療法	大河原宏征、他	15
2) 機能性甲状腺腫に対するPEITの効果	的場はな、他	21
3) 縦隔まで及ぶ甲状腺嚢胞に対するPEITの検討	伊原利和、他	26
4) 充実性甲状腺結節に対するPEITの経験	西原明芳、他	32
5) 当院における甲状腺疾患PEIT施行の試み	和泉元衛、他	39
6) 巨大甲状腺腫に外来PEITを施行した1例	三宅育代、他	44
7) エタノール注入療法後のバセドウ病甲状腺組織変化	長倉穂積、他	50
第1巻 (第1回甲状腺PEIT研究会記録)		
PEIT研究会発足の経緯と展望	伴良雄	1
PEITの適応と手技: PEITに必要な超音波の知識	川内章裕、草野満夫	3
PEITの適応と手技: バセドウ病	清水伸一、中駄邦博	11
PEITの適応と手技: 結節性甲状腺腫	貴田岡正史	23
PEITの適応と手技: 甲状腺癌: 非根治症例に対する経皮的エタノール注入療法	渡辺紳、野口志郎	30
	坂本円、大野恭裕、	

PEITが有効であった甲状腺嚢胞の3例	他	34
嚢胞性甲状腺疾患に対するPEITの検討	山下美貴子、三宅育代、他	38
甲状腺の結節性病変に対するエタノール注入療法	宮川めぐみ、小野田教高、他	43
甲状腺PEITの試行錯誤	坪井久美子、的場はな、他	48

[甲状腺PEIT研究会トップページへ戻る](#)